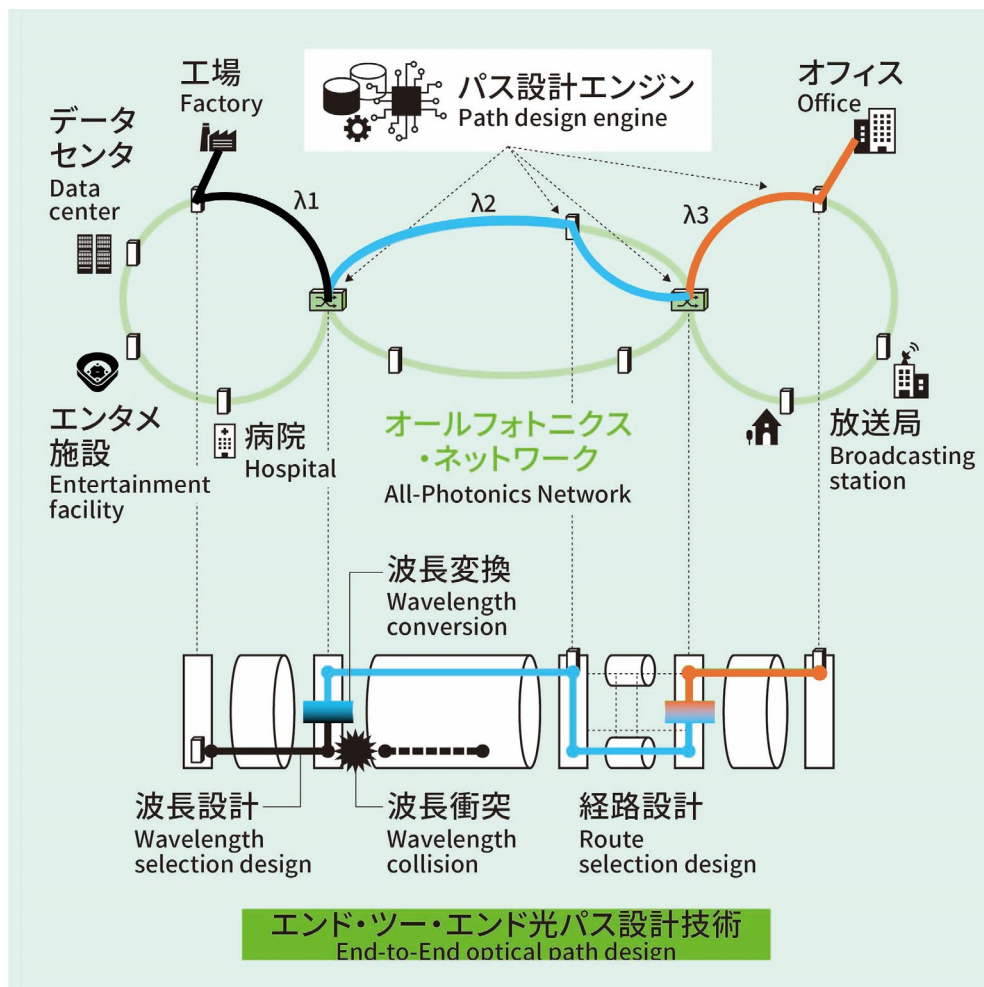


将来APNへ～エンド・ツー・エンド光パス設計技術

波長・経路の設計によりエンド・ツー・エンドの光パスをオンデマンドで低コストに提供します

#業務効率化 #レジリエンス



///技術課題

APNの展開や波長サービスの多様化により、波長変換技術導入後の設計が必要ですが、波長や経路とコストのバランスの取れた経路探索ができません。

///研究目標

波長・経路探索の精度向上によりAPNのリソース利用効率を向上し、設備コストを削減します。

---要素技術

波長変換技術を導入した光パスネットワークにおいて、波長リソースの利用状況に応じて波長利用効率の高い光パスの経路と波長を設計する技術

---市中技術差異点

市中技術では波長変換の適用や迂回路の選択による効果を評価して経路や利用波長を決定する方法はなく、本技術では両者を考慮することで波長利用効率の良い経路の設計を実現

---適用ビジネス

情報通信業分野
オンデマンドな光パス接続サービスの提供に活用可能
2028年度4月（予定）